

2024年

3月天理参考館イベント

4 (月) まで	<p>くらしの道具—今昔モノがたり—</p> <p>#むかしの道具を知ってる会七つ道具っず「むかしの家に置いてみよう」 むかしの遊びコーナー 紙風船の販売</p> 	3F 企画展示室 ←3F ロビー ←2F ホール ←受付カウンター
4 (月)	<p>マンデートーク★38 ギャラリートーク「#むかしの道具を知ってる会」⑥</p> <p>コロンブスの交換</p> <p>大航海時代以降は世界史の流れが大きく変わり、多数の人や動植物、ウイルスに至るまでさまざまなものが地球規模で交流するようになります。この事象をアルフレッド・W・クロスビーが「コロンブスの交換」と名付けました。これが日本に与えた影響とは？食文化から考えます。</p>	3F 企画展示室 13:15～13:35 幡鎌真理 学芸員
11 (月)	<p>マンデートーク★39 布留遺跡 謎の円筒埴輪</p> <p>天理参考館3階では布留遺跡から出土した円筒埴輪類を展示していますが、この埴輪は、古墳に並んでいたのではなさそうです。何のために並んでいたのかも謎ですが、ほかにもいくつかあるこの埴輪の謎について、お話しします。</p>	3F 13:15～13:35 藤原郁代 学芸員
15 (金)	<p>学芸員による講演会 / トーク・サンコーカン 藤原郁代 学芸員</p> <p>布留遺跡出土品から見る物部氏の武器</p> <p>天理参考館がある辺りは、古墳時代に物部氏が暮らした集落遺跡、布留遺跡です。この地と物部氏を結びつける根拠は、日本書紀に石上神宮に奉納された大量の武器を物部氏が管理していたと記されていることです。また、日本書紀に登場する物部氏の人々は、軍事に関わる役目を担っています。布留遺跡出土品から出土した武器からどんなことがわかるか、考えてみます。</p>	地下1F 研修室 13:30～15:00 (13:00 開場) 【定員 100名】 要入館券
17 (日)	<p>ガムラン・クラシックギターコンサート—音色で巡る世界の旅 9—</p> <p>ワークショップ【バリガムラン体験講座・クラシックギター講座】合同成果発表会 出演：「バリガムラン体験講座」「クラシックギター講座」受講者・講師</p>	エントランスホール 13:00～ 【無料】
18 (月)	<p>マンデートーク★40 中国の少数民族「白族」の藍染め布</p> <p>中国大陸の西南部にある雲南省の大理市周辺には、少数民族の白（ペー）族が多く暮らしています。彼らが作る藍染めの布は大変美しく、観光みやげとして人気があります。今回は当館が所蔵する藍染め布をご紹介します。</p>	1F 13:15～13:35 中尾徳仁 学芸員
25 (月)	<p>マンデートーク★41 懐かしの“やまてつ” 3</p> <p>かつて地元民から“やまてつ”の愛称で親しまれていた大和鉄道（近鉄田原本線の前身）は、実は桜井まで路線がありました。乗車券などの資料から波乱に満ちた歴史をたどるとともに、廃線跡についても紹介します。</p>	2F 13:15～13:35 乾 誠二 学芸員
休館	5(火)、12(火)、19(火)	

～2024年4月よりマンデートークが毎月【月曜日2回】にリニューアルします～

トーク1【1つのコーナーを説明】 12:30～ + トーク2【同コーナーで深掘り解説】 13:00～20分程度

開催日とトーク1・トーク2の各テーマは、イベントチラシ、Webサイト、Xにてお知らせします。